



▲細川勝元安堵状



▲開山堂

ほんもんじしよぞうぶん かざい かいさんどうほんもんじもんじよ 本門寺所蔵文化財 - 開山堂と本門寺文書を中心に -

本門寺は三野町下高瀬にあり、日蓮さんの命日である旧暦の10月13日に行われる「大坊市」で有名なお寺です。山梨県の武士であった秋山氏が蒙古襲来に備え、三豊を警備するために、赴任した13世紀後半に建立したもので、西日本最古の日蓮宗のお寺としても有名です。

3月30日、お寺が所蔵する古文書20点と絵画1点が県指定有形文化財になりました。古文書は14～16世紀の間に書かれたもので、お寺の運営に関することが記されています。細川勝元安堵状（古文書）は、讃岐守護である細川勝元が本門寺を保護する内容が記されています。細川勝元は応仁の乱（1467～1477年）を引き起こした人物で、室町幕府の中心的人物でした。応仁の乱は10年も続き、混乱は中央から地方にも波及し、混

乱から本門寺を守るために出されたものとして歴史的に価値の高いものです。

絵画は「狩野常信」が描いた「日蓮聖人画像の写し」です。常信は、3代將軍徳川家光・4代將軍家綱に仕えた絵師として有名ですが、初期の作品についてはあまり知られていませんでした。この絵画は常信が19歳の頃に描いたと記述があるため、今後の美術史研究における基準となる重要なものとして、県指定有形文化財になりました。

本門寺の境内にはお寺を開山した日仙上人を祀る開山堂があります。棟札から、江戸時代(1697年)に建立されたことがわかります。江戸時代の本格的な仏堂として貴重なため、市指定有形文化財になっています。

<生涯学習課>

今月の市民力

ジャグリングとは道具を使った大道芸のこと。香川高専の部活動として結成して3年目、10人程の部員が活動しています。市内のまつりやイベント・老人ホーム・保育所などに行き、パフォーマンスを披露したり、教室を開催して、ジャグリングを広めています。1日3時間程練習を重ね、約3カ月で人前でできるようになります。多くの人に大道芸やジャグリングを楽しんでほしいと日々練習に励んでいます。「どこにでも行きますので、是非、声をかけてください」と田中聖也部長。学生らしいはつらつとした笑顔でみんなを楽しませてください。

